

平成28年度 第1回地域家庭教育推進南会津ブロック会議 実施報告書

(南会津) 教育事務所

1	実施期日	平成28年6月7日(火)	時間: 13時30分~15時45分
2	会場	南会津合同庁舎 2階会議室	
3	出席者数	総出席者数 計 19名 (男性11名 女性8名)	
<p>(内訳) 家庭教育支援南会津の会会長(民間団体)、桧沢区長、絆づくりの会会員(民間団体)、保健福祉事務所担当者、下郷町学校支援員、只見町教委生涯学習班担当者、只見町社会教育委員、保育所所長、郡小学校長会会長、企業代表者、地域子育てサポートチーム、下郷町教委社会教育担当者、南会津町教委生涯学習担当者、檜枝岐村教委担当者・南会津教育事務所(所長、次長兼社会教育課長、社会教育主事兼指導主事、主任社会教育主事)</p>			
4	会議概要	<p>○社会教育事業(家庭教育、家庭教育応援企業推進活動等)の報告 ○福島県地域家庭教育推進協議会の報告と域内の課題の一つである「読書活動」についての説明 ○家庭教育の課題解決に向けた支援方法についての協議</p>	
5	会議内容	<p>(1) 開会 (2) 主催者あいさつ 福島県教育庁南会津教育事務所 所長 渡辺 惣吾 (3) 出席者自己紹介 (4) 日程説明・諸連絡 (5) 報告</p> <p>1) 社会教育事業(家庭教育)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でつながる家庭教育応援事業について ・地域家庭教育推進南会津ブロック会議 ・フォローアップ研修 ・親子の学び応援講座 ・「ふれあい訓」づくり活動推進 ・地域子育て・家庭教育支援団体との連携 ・ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 <p>2) 福島県家庭教育応援企業推進活動について</p> <p>3) 福島県地域家庭教育推進協議会の報告と読書活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいを持つ子ども・保護者の支援 ・不登校の要因 ・メディアコントロールの必要性 ・読書に関する調査より ・これからの読書推進について <p>(6) グループ協議</p> <p>1) 協議テーマの視点について 「南会津の家庭教育の課題解決に向けた支援方法について」 <家庭にどうやって伝えていくか></p> <p>2) グループ協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議の視点に添っての話合い ○付箋紙と画用紙を活用した協議方法 ○事前をお願いしておいた進行役の方がまとめて発表 <p>① 今までの支援方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子の学び応援講座での支援 家庭教育講話での保護者への学びの機会の提供 <p>② これからの支援方法</p> <p>ア ブロック会議でお知らせを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭に配布。(回覧板等) ・ホームページ等に掲載する。 ・保育所・幼稚園・子どもクラブ入り口などにお知らせを貼 	



ってもらおう。

- ・ スーパーなどにお知らせを貼ってもらおう。
- ・ 商工会から企業を通じて配布。
- イ 広報誌にミニコラムや社会教育コーナーのものを掲載してもらおう。(発達段階に応じた社会教育課題と家庭でできること)
- ・ 町村だより
- ・ 幼・小・中学校のおたより
- ウ 短くて頭に残る標語を作り、周知する。(早寝、早起き、朝ごはんのようなもの)
- エ 学校行事や保護者会等でお知らせをもとに話してもらおう。
- ※ 配布する場合にはブロック会議・南会津教育事務所等の名称を入れる。(説得力がある。)



- 3) 各グループからの発表
1～4グループの代表による発表

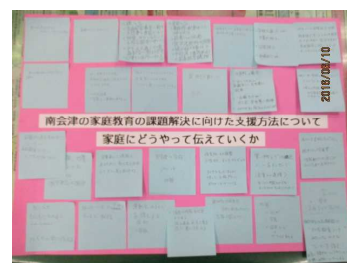
7 諸連絡

- (1) 「郡優秀ふれあい訓作品」選考委員(4名)の選出
※ 7月6日(水) あたご館
○ 松田氏、室井氏、星氏、木村氏



- (2) その他
御礼

次長兼社会教育課長 佐々木孝一



5 成果・課題

1 成果

- 域内町村教育委員会の方をはじめ家庭教育ブロック会議の参加者に、家庭教育関係事業について説明をし、理解していただくことができた。
- 福島県地域家庭教育推進協議会や域内の課題の一つである読書活動について報告をし、課題について再認識していただくことができた。
- 親子の学び応援講座実施日をブロック会議の参加者に呼びかけ、参加を促すことができた。
- 1グループ4、5人で、付箋紙と画用紙を使った協議方法は、個人の発言回数が多くなり、参加者がそれぞれ自分の考えを述べることができた。
- 家庭教育の課題解決の方法について、子育てや家庭教育支援、青少年育成、企業代表の方々から意見を聞くことができ、大変有意義な会議であった。
- 家庭教育の課題を解決するためには各家庭に呼びかける必要があるということを確認できたので、方法等について出された意見をもとに吟味していきたい。

2 課題

- グループ協議をしたことによりたくさんの意見が出された。それらをまとめるまでにはいかなかったが、次回の会議後に実践できるよう要点を整理しておきたい。